

令和7年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び附属明細書
並びに財産目録の承認について

事業報告

I. 全体概要

令和7年度の経常収益額（事業収益、受取会費、受取委託料、補助金等の合計）は78,515千円、経常費用額（事業費、管理費の合計）は94,606千円となり、当期経常増減額（経常収益額－経常費用額）は16,091千円の大幅な赤字となった。

このうち、種苗販売の収益となる事業収益は40,668千円となり、公益事業関係では、デルフィニウムの1品目が前年度実績と同額であったが、他品目は全て減額となった。また、収益事業は1,757千円となり、前年度実績より減額となった。全体の事業収益額は42,425千円となり、前年度実績より10,974千円の減収となり、金額ベースで、当初予算比85%、前年度実績比79%となった。

次に、種苗生産・販売のコストとなる事業費は86,820千円となり、前年度実績より15,994千円の増額となり、金額ベースで、当初予算比132%、前年度実績比123%となった。各費目ごとでは、燃料費、保険料、旅費交通費、修繕費、雑費が増額し、賃金、福利厚生費、退職給付費用、委託料、光熱水費、租税公課、技術開発費、利用権許諾料、賃借料、減価償却費が減額となった。

1. 管理運営に関する事業

1) 総会

第63回定時総会及び1回の臨時総会を開催し、上程した議案は全て原案どおり承認された。

[総会の開催]

総会	開催日	場所	議案事項
第63回 定時総会	令和7年 6月25日	JAビル 501研修室	1. 令和6年度事業報告、貸借対照表等について 監査報告 2. 任期満了に伴う役員改選(案)について(別表1)
第1回 臨時総会	令和7年 12月24日	JAビル 501研修室	1. 茎根腐細菌病の発生に伴う見舞金の対応(案)について 2. 見舞金支払いにかかる借入(案)について
第2回 臨時総会	令和8年 3月6日	JAビル 503研修室	1. 令和8年度会費及び納入方法(案)について

2) 理事会

5回開催し、総会附議事項等について審議し、附議した議案は全て原案どおり承認された。

[理事会の開催]

理事会	開催日	場所	議案事項
第1回 理事会	令和7年 6月9日	JAビル 503研修室	1. 規則の改正(案)について 2. 令和6年度事業報告、貸借対照表等について 3. 任期満了に伴う役員改選(案)について(別表1) 4. 第63回定時総会の開催(案)について
第2回 理事会	令和7年 6月25日	JAビル 501研修室	1. 役付理事の選定(案)について(別表2)
第3回 理事会	令和7年 10月17日	JAビル 702研修室	1. 苗被害等に対する苗代返金等の対応(案)について

第4回 理事会	令和7年 12月9日	JAビル 501研修室	1. 茎根腐細菌病の発生に伴う収量調査結果及び対応(案)について 2. 見舞金等の支払いにかかる借入(案)について 3. 臨時総会の開催(案)について
第5回 理事会	令和8年 2月17日	JAビル 501研修室	1. 令和7年度収支予算の補正(案)について 2. 令和8年度事業計画及び収支予算(案)について 4. 令和8年度の会費及び納入方(案)について 5. 令和8年度借入限度額(案)について 6. 令和7年度第2回臨時総会の開催(案)について

3) 企画運営委員会

理事会に先立ち、2回開催し、理事会附議事項及び報告事項等について協議した。

[運営委員会の開催]

委員会	開催日	場所	協議事項
第1回 運営委員会	令和7年 5月15日	県総合農試 大会議室	1. 規則の改正(案)について 2. 令和6年度事業報告、貸借対照表等について 3. 理事の辞任に伴う後任者の選任について(案)
第2回 運営委員会	令和8年 2月3日	県総合農試 大会議室	1. 令和7年度収支予算の補正(案)について 2. 令和8年度事業 計画及び収支予算(案)について 3. 令和8年度の会費及び納入方法(案)について 4. 令和8年度借入限度額(案)について

4) 監査

定例の棚卸監査及び帳簿監査が行われた。

監査名	開催日	備考
棚卸監査	令和7年3月31日	令和6年度期末棚卸監査
帳簿監査	令和7年4月28日	令和6年度期末帳簿監査

2. 種苗生産・供給事業

1) 園芸作物の優良種苗の生産及び安定供給

(1) 宮崎県が育成したオリジナル品種の種苗供給

宮崎県総合農業試験場等で育成された野菜・花きの品種等の種苗の生産及び供給を行った。

① かぼちゃ

黒皮かぼちゃの「宮崎早生2号」を採種し、「宮崎早生1号」、「宮崎早生2号」の2品種について、33袋(600粒/袋)を供給し、供給金額は156千円であった。需要が減少しており、供給金額ベースで、当初計画比100%、前年度実績比82%となった。

② にがうり

「宮崎つやみどり」、「佐土原3号」の2品種を生産し、他2品種を合わせ4品種について、687袋(100粒/袋)を供給し、供給金額は3,267千円であった。需要が減少しており、供給金額ベースで、当初計画比72%、前年度実績比81%となった。

③ ヒーマン台木

県内はもとより県外からの注文が増加している品目で、「みやざき台木 5 号」及び「みやざき L1 台木 1 号」の 2 品種を生産し、他 2 品種を合わせた 4 品種について、1,018 袋(1,000 粒/袋)を供給し、供給金額は 8,534 千円であった。需要は安定しており、供給金額ベースで、当初計画比 112%、前年度実績比 97%とほぼ横ばいとなった。

④ スイートピー

「恋かすみ」(試交 25 号)等の 9 品種を生産し、他 3 品種を合わせた 12 品種について、56 袋(800 粒/袋)を供給し、供給金額は 464 千円であった。予約とりまとめ以降の追加注文があり、供給金額ベースで、当初計画比では 140%となったが、前年度実績比では 81%と減収した。

⑤ デルフィニウム

「ペガサス」、「アルティ」、「ペガ」の 3 品種を生産し、他 4 品種を合わせた 7 品種を 87 袋(1,000 粒/袋)を供給し、供給金額は 1,452 千円であった。需要が安定しており、供給金額ベースで、当初計画比 109%、前年度実績比 100%となった。

(2) 栄養繁殖作物の茎頂培養苗の供給

かんしょ、いちご、らっきょう、ナンキョウの茎頂培養苗を生産・供給した。

① かんしょ

「宮崎紅」、「コガネカン」等の 11 品種の挿苗及びポット苗を供給し、供給金額は 22,966 千円となり、当初計画比 76%、前年度実績比 75%であった。

苗別では、挿苗は 7 品種を供給し、全体供給数は 758 千本(当初計画比 84%、前年度実績比 76%)で、供給金額は 20,319 千円(当初計画比 82%、前年度実績比 79%)となった。出荷本数は当初計画より約 146 千本の減となったが、要因としては基腐病対策の伴う需要時期の前進化や基腐病の耐病性品種への転換、サツマイモ茎根腐細菌病の発生などが影響したと思われる。

また、ポット苗は 9 品種を供給したが 5 月下旬にサツマイモ茎根腐細菌病の感染確認により生産体制を見直したため生産が遅れ、全体供給数は 25 千鉢(当初計画比 49%、前年度実績比 56%)で、供給金額は 2,647 千円(当初計画比 49%、前年度実績比 56%)と大幅に減少した。

次に、挿苗の品種別では、各品種ともサツマイモ茎根腐細菌病発生による減少が大きいがこの他の要因として、「宮崎紅」は耐病性品種への転換等の影響による需要の減少で、供給本数は 148 千本となり、当初計画比 43%、前年度実績比 54%となった。

「コガネカン」は民間育苗施設の本格的稼働及びキャンセル等の影響による需要の減少も含め、供給本数は 427 千本となり、当初計画比 98%、前年度実績比 87%となった。

また、基腐病の耐病性品種の「みちしずく」(加工用品種)は計画数量よりわずかに少なく、供給本数は 57 千本となり、当初計画比 95%、前年度実績比 82%となった。

さらに、基腐病の耐病性品種の「べにまさり」(青果用品種)は 6 年度から供給開始したが、供給本数は 3,700 本となり、前年度実績比 38%となった。

② いちご

「さがほのか」は種苗業者から親苗(さがほのか)を導入し、5,170 鉢を供給し、供給金額は 2,092 千円であったが、需要の減少により、供給金額ベースで、当初計画比 86%、前年度実績比 81%と減収した。「みやざきなつはるか」については前年並みの 140 本を供給した。

③ らっきょう

当センターで増殖した「らくだ」の種球(原種)を採種農家(宮崎市田野町)へ供給し、種球の委託生産を行った。供給数量は 1,430 kgで、供給金額は 980 千円であり、需要の減少により、供給金額ベースで、当初計画比 95%、前年度実績比 73%となった。

④ ランキュラス

「SCパールピンク」等の13品種の培養苗及びかぎ芽苗を生産し、2,732本(株)を供給した。供給金額は687千円であり、供給金額ベースで、当初計画比94%、前年度実績比85%となり、計画数量をわずかに下回った。

(3) 優良種苗供給体制整備事業

優良種苗の安定生産技術の確立に向けた試験・実証等について、3品目で実施した。

① かんしょ苗の安定生産技術の確立

- ・センター生産・出荷の8品種(11系統)について、現地栽培を行い、生育及び芋の形質等に異常はなく、問題がないことを確認した。
- ・培養苗の増殖方法として、現在水耕栽培夏場の水温上昇による成育障害が見られるため、ポリポットとセルトレイを使った増殖を試みたが、試験区は対照の水耕栽培と比較すると約1/3の増殖率となった。今回の試験では高温による障害は見られなかった。
- ・かんしょ苗を生産するに当たって、採苗後に残った茎を使い育苗できないかを検討した。結果としては先端を用いた苗と比較すると20日で0.5節から2節程度の遅れは見られるが利用は可能と考えられた。
- ・かんしょのポット栽培による採苗を計画しているため、施肥の手法について緩効性肥料の有効性について7月の定植から10月下旬まで採苗数を確認したが、2種の緩効性肥料で対照区より優れた採苗が可能であった。

② ヒメマユ台木の採種技術の確立

- ・「みやざき台木5号」の子房親の草勢を調整し、着果促進するため仕立方について、慣行の4本仕立てに対して、6本仕立てと8本仕立てについて検討した。主枝数に応じて着果数が増加する結果となったが、採種効率的には6本仕立てが優れる結果となった。
- ・「みやざき台木5号」の花粉親は生育初期に花芽が分化しない症状が見られることから、夏期育苗での高温対策として、夜冷育苗を行い花芽の着生を促せないか検討を行った。結果としては慣行と大差はなく、花粉親の夜冷育苗の効果は見られなかった。今後の対策としては、子房親に対して花粉親の播種時期を半月ぐらい早めに行うことが有効と考えられた。

③ ランキュラスの優良種苗の安定生産技術の確立

- ・ランキュラス順化時の照明の違いが生育に及ぼす影響について、赤・青色LED+白色LED照明、赤・青色LED単独、蛍光灯の比較を行ったが、LED区では苗の老化等が見られ慣行区が優れる結果となった。
- ・かぎ芽苗では育苗中に苗の腐敗が生じることから、成苗率向上のため、球根掘り上げ時及び球根伏せ込み時の殺菌剤及び消毒時間について検討したが、慣行区が最も優れる結果となった。
- ・球根生産時の球根洗浄方法の省力化について検討を行い、慣行区ではコンプレッサーとブラシによる洗浄を行っていたが、試験区の金網上で新たに導入したノズルを用いた高圧の水流による洗浄が省力的で球根へのダメージも少なく洗浄効果も優れる結果となった。
- ・バイテクセンターで管理しているランキュラスモロッコシリーズ8品種の培養苗の鉢上げし開花確認等による形質確認を行った。試験期間中に開花した5品種については形質の異常は見られなかった。

(4) 優良系統・品種の親株保存管理

① 県育成品種で、現在普及中の品種・系統及び遺伝資源としての利用の可能性のある品種・系統を将来の活用に備え、保存・管理しており、令和7年4月1日に、野菜2品目2品種、いも類1品目11品種、花き4品目30品種で保存管理を開始した。

② 期間中、いも類かんしょの2品種4系統の保存を追加した。

品目	追加した品種・系統
かんしょ	べにまさり(22-1、22-3)、 べにはるか(23-1、23-10)

③ 令和8年3月末での各品目・品種の保存本数は表のとおり、野菜2品目2品種、いも類1品目11品種、花き4品目30品種の見込みである。

作目	NO.	品 目	品 種	導入先	導入年次	保存 形態	保存管理 場所	保存 本数	移植 時期 間隔	備考
野菜	1	いちご	みやざき なつはるか	総合農試	平成25年	培養苗	培養室	15	90日	
	2	らっきょう	らくだ (長1B)	都城市	平成5年	培養苗	培養室	20	90日	
いも類	1	かんしょ	宮崎紅(高系 14号 A-3)	総合農試	令和6年	培養苗	培養室	10	90日	
			宮崎紅(高系 14号 0-61)	総合農試	令和6年	培養苗	培養室	20	90日	
	2		コガネガン	総合農試	令和元年	培養苗	培養室	20	90日	
	3		コガネサリ	総合農試	令和元年	培養苗	培養室	6	90日	
	4		タマアサ	総合農試	令和3年	培養苗	培養室	6	90日	
	5		ムササギサリ	総合農試	令和6年	培養苗	培養室	10	90日	
	6		アサムササ	総合農試	令和6年	培養苗	培養室	10	90日	
	7		ジョイフルイト	総合農試	令和6年	培養苗	培養室	6	90日	
	8		高系14号 (0-18H①-12)	総合農試	令和6年	培養苗	培養室	10	90日	
			高系14号 (0-18H①-3-3)	総合農試	令和6年	培養苗	培養室	10	90日	
	9		みちしずく	総合農試	令和6年	培養苗	培養室	10	90日	
	10		べにまさり 22-1	総合農試	令和8年	培養苗	培養室	10	90日	今年度追加
			べにまさり 22-3	総合農試	令和8年	培養苗	培養室	10	90日	今年度追加
	11		べにはるか 23-1	総合農試	令和8年	培養苗	培養室	10	90日	今年度追加
			べにはるか 23-10	総合農試	令和8年	培養苗	培養室	10	90日	今年度追加

作目	NO.	品 目	品 種	導入先	導入年次	保存 形態	保存管理 場所	保存 本数	移植 時期 間隔	備考
花き	1	デルフィニウム	AS (ペガ花粉親)	総合農試	平成18年	培養苗	培養室	10	45日	
	2	ランキュラス	ガーネット	総合農試	令和4年	培養苗	培養室	10	60日	
	3		ローズクォーツ	総合農試	令和2年	培養苗	培養室	10	60日	
	4		サンキュラス・ オレンジ	総合農試	平成22年	培養苗	培養室	10	60日	
	5		サンキュラス・ ピーチ	総合農試	平成22年	培養苗	培養室	10	60日	
	6		サンキュラス・ パールピンク	総合農試	令和4年	培養苗	培養室	10	60日	
	7		フェラン	綾町	平成27年	培養苗	培養室	10	60日	
	8		ニーム	綾町	平成29年	培養苗	培養室	10	60日	
	9		キティラ	綾町	平成29年	培養苗	培養室	10	60日	
	10		デューニュ	綾町	平成29年	培養苗	培養室	10	60日	
	11		サンキュラス・ ピュアホワイト	総合農試	令和4年	培養苗	培養室	10	60日	
	12	ランキュラス HM:ひなた モロッコ系	HM・マーズレット	総合農試	令和4年	培養苗	培養室	10	60日	
	13		HM・ ライトパープル	総合農試	令和4年	培養苗	培養室	10	60日	
	14		HM・ ミルキーピンク	総合農試	令和4年	培養苗	培養室	10	60日	
	15		HM・ラブ	総合農試	令和5年	培養苗	培養室	10	60日	
	16		HM・クラシック	総合農試	令和5年	培養苗	培養室	10	60日	
	17		HM・ ブラッドオレンジ	総合農試	令和5年	培養苗	培養室	10	60日	
	18		HM・ レモンイエロー	総合農試	令和5年	培養苗	培養室	10	60日	
	19	ランキュラス HM:ひむか ラックス系	HR・オレンジ	総合農試	令和7年	培養苗	培養室	10	60日	
	20		HR・チェリーピンク	総合農試	令和7年	培養苗	培養室	10	60日	
	21		HR・レッドフレア	総合農試	令和7年	培養苗	培養室	10	60日	
	22		HR・ ブライトパープル	総合農試	令和7年	培養苗	培養室	10	60日	
	23		HR・ゴールド	総合農試	令和7年	培養苗	培養室	10	60日	
	24		HR・レネード	総合農試	令和7年	培養苗	培養室	10	60日	
	25		HR・ ソフトイエロー	総合農試	令和7年	培養苗	培養室	10	60日	
	26		HR・パールピンク	総合農試	令和7年	培養苗	培養室	10	60日	
	27	耐暑性 りんどう	M1-19 クリアブルー	総合農試	令和5年	培養苗	培養室	6	90日	
	28		M2-8 ソフトブルー	総合農試	令和5年	培養苗	培養室	6	90日	
	29		M2-16 ブライトブルー	総合農試	令和5年	培養苗	培養室	6	90日	
	30	きく	神馬66 N-11	総合農試	令和5年	鉢苗	ビニールハウス	30	1年	

2) 野菜苗の受託育苗及び花きの球根生産(収益事業)

野菜苗の受託育苗は、採算性の悪化、かんしょ育苗の早進化に伴うハウス利用の見直し整理したことにより、受託品目を減らしている。今期の受託苗は佐土原ナス主体としたことから、実績金額 985 千円、当初計画比 146%、前年度実績比 47%となった。

また、種子球根では、ラッキョウ(PONPON シーズ)の球根等の採種・供給を行い、実績金額は 695 千円となり、需要減により、当初計画比 98%、前年度実績比 73%となった。

その結果、収益事業全体の実績金額は 1,757 千円となり、当初計画比 123%、前年度実績比 57%であった。

(別表-1)

役員の辞任に伴う後任者の選任について

1. 内容

1) 理事

現職 (令和 7 年 6 月定時総会から令和 8 年 6 月定時総会まで)		備考	改選(案) (令和 7 年 7 月臨時総会から令和 8 年 6 月定時総会まで)	
氏名	勤務先役職名		氏名	勤務先役職名
殿所 大明	宮崎県農政水産部長	副会長理事	児玉 憲明	宮崎県農政水産部長
松田 義信	宮崎県総合農業試験場長		下田 透	宮崎県総合農業試験場長
佐藤 峰史	高千穂町農林振興課長		工藤 久生	高千穂町農林振興課長

(別表-2) 役付理事の選定について

1. 内容

役 職	理 事 (令和 7 年 6 月 第 2 回理事会～令和 8 年 6 月 定時総会まで)	
	氏 名	勤務先役職名
副会長理事	児玉 憲明	宮崎県農政水産部長